

平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

11月21日（金）、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、隈丸優次大使と被供与団体3団体（バタンバン州教育・青少年・スポーツ局、カンボジア子供と発展のための機構、貧困削減と社会開発のための職業訓練の各代表が贈与契約書に署名を行いました。



バタンバン州教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、バタンバン州バヴェル郡バントン小学校に新校舎1棟、トイレ1棟4室、雨水タンク1基を建設し、机椅子等の学習用機材も整備することによって、児童・教職員約321人に裨益することが期待されています。

また、カンボジア子供と発展のための機構が実施する案件では、ポーサット州ヴィールベン郡トゥールクロー小学校に新校舎1棟、トイレ1棟2室、雨水タンク1基及び机椅子等の学習用機材もあわせて整備し、安全面・衛生面共に整った教育環境の向上が図られ、同小学校の142名の生徒・教職員に裨益することが期待されています。





加えて、貧困削減と社会開発のための職業訓練が実施する案件では、ポーサット州バカン郡ポントゥット小学校に対し、校舎1棟、トイレ1棟4室、及び雨水タンク1基をそれぞれ建設し、あわせて机椅子等の学習用機材も行うことによって児童、職員436名が安全で衛生的な環境のもとで学習活動が出来るようになることが期待されています。

式典では、隈丸大使がスピーチを行い、今回整備される教育施設について被供与団体によって適切に管理されることを望んでいると述べ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、学校関係者、地域住民の手によってこれらの施設を維持していくことを約束しました。

